

大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 (每月一回十五日發行)

# 阿武郡報

第二十九號

## よろづ心得の事

- 一、鋤鍬を執らずして農家終に繁昌を得ざる事
- 一、雑談寄合を好んで無益に夜を深かして朝寝を樂しむべからざる事
- 一、大法會で通達せず己が物好き最負に任せ沙汰致す間敷事
- 一、先祖の遠忌の日には精進を專一とし亂舞宴樂停止の事
- 一、地頭、先祖、父母の重恩毎日思ひ出し忘却すべからざる事
- 一、公用を厭ひ私用を専らとし世間を憚らざる働きをすべからざる事

(稻葉默齋)

第二十九號

大正七年十二月十四日印刷  
大正七年十二月十五日發行

發行所 山口縣阿武郡役所

印刷所 萩 馨海館



## 庶務

### 大正七年度後期縣稅納稅狀況

本郡に於ける納稅事務は漸次改善せられ大正七年度後期縣稅納付狀況別表の如く各種稅目を通じて完納せるもの十二ヶ村にして就中山田、大井、奈古、宇田郷の四ヶ村は當局有司の熱心なる盡力に依り今期新に完納の實績を擧ぐるに至りしものなり滞納者は前期に比し營業稅に於て八十人を減少したりと雖も地租割十一人雜種稅二十三人戸數割に於て七十九人増加し滞納總人員五百六十七人となれり之を前期に對比するときは百四十四人を増加せる







第十七條 總會ハ正團員全部ヲ以テ之ヲ組織シ定期ハ每年四月ニ臨時ハ緊急必要ノ場合又ハ正團員三分ノ一以上ノ請求アリタル時之ヲ開ク

第十八條 幹部會ハ幹事長幹事ヲ以テ之ヲ組織シ必要ノ都度之ヲ開ク但シ必要アル時ハ會計監査員又ハ顧問ヲ參加セシムルコトヲ得

第十九條 評議員會ハ評議員ヲ以テ組織シ定期ハ每年三月ニ臨時ハ緊急必要ノ場合又ハ評議員三分ノ一以上ノ請求アリタル時之ヲ開ク但シ評議員ノ任期ハ二ケ年トス

第二十條 評議員ハ各宗ニ於テ十個寺(未滿ヲ含ム)毎ニ壹名ヲ選出スルモノトス

但シ天台宗ハ當分曹洞宗ニ攝屬ス

第二十一條 總會ニ於テハ年度内ノ事務及會計ノ状態ヲ報告シ大講演會ヲ開催ス

但シ殊ニ總會ノ決議ヲ經ヘキ必要アル時ハ總會議ヲ開ク

第二十二條 評議員會ニ於ケル原案ハ幹事長之ヲ提出ス但シ評議員五名以上ノ賛同ヲ得テ評議員會自ラ議案ヲ提出スルコトヲ得

第二十三條 左ニ掲クルモノハ評議員會ノ議決ヲ經ルコト

ヲ要ス

一、團則制定又ハ更正

二、年度收支豫算

三、事業ノ選定

四、本團ノ負擔トナルヘキ契約若クハ施設

五、其他規程ニ定メタルモノ又ハ必要ト認ムベキ事項

第二十四條 本團ノ役員ハ何時タリトモ總會及評議員會ニ出席シテ發言スルコトヲ得

但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第二十五條 會議ノ議長ハ其ノ議員ノ選舉ニ依リ之ヲ定ム議長ハ議事細則ヲ定メ幹事長ノ承認ヲ經テ之ヲ施行ス

議長ハ議事及議場ノ整理ヲナシ議員ヲ監督ス 副議長ハ議長事故アル時之ヲ代理ス

第二十六條 議事ハ多數ニ由リ之ヲ決ス可否同數ナル時ハ議長之ヲ決ス

第二十七條 會議ノ會期ハ各一日トス 但シ時宜ニ依リ幹事長之ヲ延長スルコトヲ得

第六章 會計

第二十八條 本團ノ經費ハ正團員ノ團費及其他ノ寄附金ヲ以テ之ニ充テ其收支ハ共ニ豫算ヲ以テ之ヲ定ム

第廿九條 正團員ハ毎年四月限り團費トシテ金五拾錢ヲ納付スルモノトス

但各宗内ニ於テ此限度ニ依リ以大補小スルヲ妨ケ

第三十條 本團ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ起リ翌年三月末日ヲ以テ終ルモノトス

第三十一條 決算ハ毎年會計年度終了後三ヶ月以内ニ決定シ會計監査員ノ監査ヲ經テ幹事長之ヲ團員全部ニ報告スヘシ

第三十二條 決算報告ニハ簡略ナル説明ヲ附スヘシ

第三十三條 收支決算ノ上生シタル剩餘金ハ豫備金トシテ積置キ相當年月ヲ經テ基金ニ編入ス

第三十四條 豫算ニハ豫備費ヲ設ケ豫算不足ヲ補フ

第三十五條 經費ノ支拂ハ會計年度終了後三ヶ月以内ニ必ス決濟スヘシ

第三十六條 本團ニハ收入原簿支出原簿出納整理簿其他會計ニ關スル必要ナル帳簿ヲ備ヘ會計幹事之ヲ保管ス

第七章 支部

第三十七條 本團ハ郡内各町村ニ支部ヲ置キ之ヲ阿武郡佛教團支部ト稱ス支部ノ上ニ其ノ町村名ヲ冠ス

但事情ニ由リ數ヶ町村聯合スルコトヲ得此場合ニ

ハ支部ノ上ニ適當ノ名稱ヲ冠ス

第三十八條 支部ニハ支部ノ總選舉ニ依テ選定セル支部長ヲ置ク其任期ハ二ケ年トス

但シ補缺ニ由リ就任シタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第三十九條 支部ハ本團則ニ準據シタル支部規約ヲ定メ本團ノ承認ヲ經テ之ヲ施行スヘシ

第四十條 支部ハ毎年六月末日限り前年度ノ會計決算ヲナシ之ヲ本團ニ報告スヘシ

大正七年十一月三日

附 則

第一條 大正七年度正團員ノ團費ハ大正七年十二月限り

納付スルモノトス

第二條 第一回評議員會ハ第一回總會ニ於テ選舉シタル各宗全權委員會ニ於テ選舉スルモノトス

但シ其任期ハ團則第十九條ノ規定ニ拘ハラズ大正八年ノ總會迄トス

第三條 第一回評議員會ノ選舉シタル幹事ノ任期ハ大正八年ノ總會迄トス

第四條 大正七年度ノ豫算ハ幹事ニ一任シ評議員ニ諮詢ノ上實施スルモノトス



阿武郡報

第五條 各支部ノ設置ハ大正七年十二月限リトス  
 第六條 支部ノ發團式ニハ其請求ニ依リ講師ヲ派遣ス  
 但シ其經費ハ支部ノ負擔トス  
 第七條 團員ハ本支部ニ共通スルモノトス團則第六條係  
 ル寄附金ノ收納ハ常分ノ内本部へ三分支部へ七分ノ割  
 合トス  
 但シ團員へノ領收證ハ總テ本部ヨリ之ヲ發行ス  
 第八條 團則第八條ニ定ムル團費ハ總テ本部ノ所得トス

役員氏名

幹事長 萩町三千坊(眞宗) 下間 教證  
 幹事(會計) 同 海潮寺(曹洞宗) 淺野 祖田  
 同(庶務) 同 明圓寺(眞宗) 渡邊 曜朗  
 同(同) 同 常念寺(淨土宗) 藤井 赫然  
 同(同) 同 椿郷東分村中善寺(曹洞宗) 岸田 雪城  
 評議員 萩町三千坊(眞宗) 下間 教證  
 同 明圓寺(同) 渡邊 曜朗  
 同 淨國寺(同) 杉山 靜照  
 同 長泉寺(同) 木村 實誠  
 同 海潮寺(曹洞宗) 淺野 祖田  
 同 常念寺(淨土宗) 藤井 赫然  
 同 廣雲寺(同) 楊井 報眞

同 弘法寺(眞言宗) 重富 法光  
 同 本行寺(日蓮宗) 玉井 日亮  
 椿郷東分村中善寺(曹洞宗) 岸田 雪城  
 同 東光寺(黃蘗宗) 桂 默 要  
 椿村蓮生寺(眞宗) 河名 識雄  
 三見村色雲寺(同) 三元 勇精  
 明木村西來寺(曹洞宗) 磯部 得全  
 川上村實相寺(同) 岡村 靈道  
 吉部村雲林寺(臨濟宗) 中尾 宗温  
 福賀村本光院(同) 木村 玄能  
 田萬崎村西堂寺(曹洞宗) 玉井 貞一

肺結核花柳病及十二指腸蟲病に關する調査

本縣保健衛生調査會委員山本勉彌氏は同會の事業たる右調査を試みたり茲に其狀況を掲げて參考に資す  
 本調査は萩警察署管内各町村即ち  
 萩町、椿郷東分村、椿村、山田村、明木村、川上村、三見村、福川村、紫福村、大井村、奈古村、六島村、見島村、佐々並村の一町十三ヶ村内に於ける狀況を大正四年より六年に到る三ヶ年間該地方に開業する醫師の診療簿及

阿武郡報

照會等に依り調査したるものにして此の地方に於ける該  
 病毒蔓延の程度を窺ふに足るべし

肺結核

肺結核患者年齢別人員左の如し  
 五歳より 拾歳迄 一二  
 拾壹歳より 拾五歳迄 一三  
 拾六歳より 貳拾歳迄 四九  
 貳拾壹歳より 參拾歳迄 九七  
 參拾壹歳より 四拾歳迄 五八  
 四拾壹歳より 五拾歳迄 三〇  
 五拾壹歳より 六拾歳迄 二四  
 六拾歳以上 一一  
 計 二九四

奈古村 一〇  
 三見村 一  
 椿村 九  
 佐々並村 六  
 大津郡 五  
 大井村 三  
 吉部村 二  
 宇田郷村 二  
 須佐村 二  
 福賀村 一  
 高俣村 一  
 岩國町 一  
 計 二九四

肺結核患者を人口と對比し患者率の多數なるものより序  
 列すれば左の如し

萩町 一〇九  
 紫福村 四二  
 山田村 二二  
 福川村 二〇  
 椿郷東分村 一七  
 見島村 一三  
 川上村 一三

七十三人に付一人  
 百五十六人に付一人  
 二百十二人に付一人  
 二百四十二人に付一人  
 二百五十七人に付一人  
 二百七十人に付一人



川上村 三百一人に付一人  
 三見村 三百五十二人に付一人  
 奈古村 四百五人に付一人  
 佐々並村 四百六十二人に付一人  
 明木村 四百八十二人に付一人  
 椿郷東分村 五百七十五人に付一人  
 大井村 千十人に付一人  
 六島村

●花柳病

花柳病患者年齢別人員左の如し  
 壹歳より 四歳迄 一九  
 五歳より 拾歳迄 三五  
 拾壹歳より 拾五歳迄 二二  
 拾六歳より 貳拾歳迄 五六  
 貳拾壹歳より 參拾歳迄 一四八  
 參拾壹歳より 四拾歳迄 七二  
 四拾壹歳より 五拾歳迄 四二  
 五拾壹歳より 六拾歳迄 一三  
 六拾壹歳以上 一

花柳病患者地方別人員左の如し

見島村 二四八  
 大井村 二五二  
 紫福村 二四七  
 萩町 二三七  
 福川村 二七  
 奈古村 二一  
 佐々並村 一九  
 山田村 一四  
 吉部村 一二  
 明木村 一一  
 福賀村 九  
 三見村 七  
 川上村 六  
 椿郷東分村 二  
 嘉年村 一  
 宇田郷村 一  
 須佐村 一  
 美禰郡 一  
 大津郡 一  
 豊浦郡 一  
 吉敷郡 一

大阪府

計 三五八  
 花柳病患者を人口と對比して患者率の多數なるものより  
 序列すれば左の如し

見島村 三十一人に付一人  
 大井村 五十八人に付一人  
 紫福村 六十五人に付一人  
 佐々並村 百四十六人に付一人  
 福川村 百八十人に付一人  
 奈古村 二百十二人に付一人  
 明木村 二百二十人に付一人  
 山田村 三百三十一人に付一人  
 萩町 四百六十二人に付一人  
 三見村 五百三人に付一人  
 川上村 六百五十二人に付一人  
 椿郷東分村

●十二指腸

十二指腸患者年齢別人員左の如し  
 四歳より 拾歳迄 一二  
 拾壹歳より 拾五歳迄 一〇  
 拾六歳より 貳拾歳迄 二七

十二指腸患者地方別人員左の如し

見島村 三十一  
 大井村 二十九  
 佐々並村 二十九  
 紫福村 二十六  
 萩町 十七  
 福川村 十三  
 明木村 十一  
 見島村 九  
 奈古村 九  
 椿郷東分村 八  
 山田村 八  
 三見村 四



阿武郡報

六島村(櫃島)	四
吉部村	二
福賀村	一
宇田郷村	一
計	二〇

十二指腸蟲患者を人口に對比し患者率多數なるものより序列すれば左の如し

佐々並村	九十六人に付一人
大井村	百〇四人に付一人
川上村	百三十人に付一人
紫福村	百十七人に付一人
明木村	二百二十人に付一人
見島村	三百人に付一人
福川村	三百七十人に付一人
奈古村	四百九十人に付一人
六島村(櫃島)	五百廿人に付一人
山田村	五百八十人に付一人
三見村	八百八十人に付一人
萩町	千人に付一人
椿郷東分村	千二百人に付一人
椿村	なし

以上肺結核、花柳病及十二指腸を通じて患者率の多數なるは紫福見島の二ヶ村とす而して肺結核に對しては紫福村及萩町、花柳病に對しては見島、大井、紫福の各村十二指腸に對しては佐々並、大井、川上、紫福の各村の如き大に注目し値す

町村巡視

本月中巡視を執行せる町村左の如し  
十二月三日篠生村、四日地福村、五日徳佐村、六日嘉年村、十日福川村、十一日吉部村、十二日高俣村、十三日福賀村、十四日紫福村、十五日六島村、十六日川上村、十八日萩町、十九日椿郷東分村、二十日三見村、廿一日山田村、廿四日生雲村、廿六日椿村

學事

阿武郡教育會懸賞課題結果發表

本郡教育會に於ては青年をして修養の一端に資し併せて公益的事業に對する趣味を養成せん爲め本年八月青年團幹部總會の開催に際し  
〔一〕金壹圓を與へなば如何に有効に利用せんとするか

阿武郡報

どの懸賞課題を提出し當選者には現金壹圓を賞與し其の案につき實行せしむべく發表せしが爾來團員は多大の興味を以て迎へ或は村青年團體として或は村支部團體として或は團員個人として夫々研究工夫する所ありて已に一ヶ月前より續々答案を送附し來り期日に至りては應募者實に七百餘通に上れり依て本會は之れが審査を本郡教育調査會の委員諸氏に囑託せしかば委員諸氏は慎重審査の結果之を選定し會長へ報告し會長は更に之を精査し茲に發表をなすことゝなれりされど本懸賞課題の如きは今回始めての試みにして從て答案中或は本會の希望に副はざりしものありと雖も其の應募者何れも眞摯熱心に研究者慮せるものにして本郡青年氣風の一端を窺ふに足る今審査方針及當選者の氏名内容を擧ぐれば次の如し

審査方針

- 一、答案記載に就き其の使途に於て左の條件の一若くは二以上に適するものより選擇す
- (イ)公共的のもの
- (ロ)修養的のもの
- (ハ)道徳的慈善的のもの
- 二、答案の書方左の條件に適するものより選擇す
- (イ)計畫方案の實際に適切なるもの

(ロ)計畫方案の具体的として評密なるもの  
三、當選者の實行したる結果の調査し易き者より選擇す  
四、懸賞金以外に補足して實行せんとする案は之を採ら  
右の方針により委員各自答案を通覽しつゝ優秀と認むるものを抽出し(其數五十八點)更に其の案に就きて各委員の評點を附し其の最高點のものに就き又更に研査を盡して當選者を定む

當選者

生雲村青年團員 西村 信男

納税期豫報旗赤白二枚を調製し部落内の高所を選び納税期五日前より白旗を掲げ締切日に於ては特に赤旗に換へ以て怠納者なき様注意を促すにあり而して其の勞は團員交代に之れを取ることにし其の費用につき詳細計算をなし居れり

嘉年村青年團員 河村 心市

本項も納税旗を製し納税期日を豫報するにありて其の勞は自己自ら之れに當るなり而して其の理由は一は村内怠納者なからしめんとするは勿論なるも一は自己の性質として一事を永く續行すれば飽き易き性あるを以て之れを矯正せん爲め特に自己之れに當ると云ふにあり



小川村青年團員 手田 健 榎  
 自己の部落内尋常科兒童中家計困難の爲め傘を求むる能はざるものありて從て雨天の際なきは學校を缺席し自己の成績は勿論同部落兒童の出席歩合に影響するを以て傘を購入し與へ別に殘金を以て同部落内六十五歳の貧弱なる老翁の着るに衣なきものあるを以て之れに古着を求め與へんどの何れも同情ある實行案なり

彌富村青年團員 中野 鹿之助

西比利亞出兵紀念の爲め村内の寺社及村の四境等人の多く往來する所に吉野櫻を購入し植ゑ付くこと殘金を以て戰爭畫報其他繪畫類等面白き物を他人より借受け雨親に見せんとするも目朦朧として見へざる様云へるを以て眼鏡を購ひて呈し以て其樂を共にせんとすと云ふにあり  
 高俣村青年團員 永安 重 郎  
 金壹圓を以て雛鷄二羽を買ひ入れ漸次繁殖せしめて滿三年後に至り純益を計算し之れを青年團に寄附するにありて詳細なる計算書を附し居れり

篠生村青年團員 藤 村 光 男

本年壯丁に當るを以て壯丁讀本を購入し他の合格者と共に研究し後は村巡回文庫に寄贈し後者に貸與す尙殘金を以て竹刀を求め青年團員擊劍の際の豫備品となす

紫福村青年團員 藤 山 一 正

雜誌(新報知)を購入し自己も見他人にも貸與し又一日一善日記帳を製し野球用ボールを購入し尙殘金を以て老母の煙管の破損し居るも購入する能はざるを以て之れを購求し呈すると共に母の年來希望し居るも金なき爲め求むる能はざる佛壇の打敷一枚を購求し母を喜ばせんと一々計算書を附し居れり

小川村青年團員 水 津 虎 市

三種の種子を買ひて苗を作り之を賣り其金員を村内青年團員をして自分と同しく三種苗を作らしめ以て其金員は貯蓄せしめ或は有益なる事業に投せしめんとするにあり  
 奈古村青年團員 小野 隆 治 郎  
 柿の良種を選び購入し自分に接木をなして之れを區内に配付し繁殖せしめんとするなり

吉部村青年團員 末 成 壽 男

除蟲菊の種子若くは苗を購ひて之を培養し希望者に之を分ちて培養せしめ更に其者をして同様のことをなさしめ漸次村内の産物たらしめんとするなり

第三回阿武郡兒童聯合体育會狀況

第三回小學校兒童聯合体育會は第一部の流行性感冒の爲

め延期せられしを除き其他の部は本年九月下旬より十月中旬に涉り郡内五ヶ所に舉行したるが今回は殊に本會の改良上進を計る爲め從來の經驗に基き校長集會の際各校長の意見を徴せしと共に別に臨時調査委員を設け之れが方法につき調査をなさしめ之れを標準として實施せしむることとせしなり今其の實施要項及各學校成績其他を擧ぐれば次の如し

●實施要項

一、開會日及會場區域

開會月日	開會場所	聯合區域
十月七日	明木小學校	明木、佐々並、川上
九月三十日	地福小學校	篠生、生雲、地福、徳佐
十月九日	高俣小學校	嘉年、高俣、吉部、福賀
十月三日	多磨小學校	須佐、彌富、小川、田万崎
十月五日	奈古小學校	福川、紫福、大井、奈古、宇田六島

二、開會及閉會時限

開會午前十時 閉會午後三時

但部内の協議により時限を變更することを得  
 此場合に於ては豫め郡長へ報告すべし

三、舉行事項

學年	競争距離	甲	乙	丙
尋男	二百米	何秒以内	何秒以内	何秒以上
同女	二百米	全	全	全
高男	三百米	全	全	全
同女	二百米	全	全	全

- (一)開會式 會長開會を宣言 唱歌君が代二回會長開會の辭
  - (二)徒競争
  - (三)學校別体操
  - (四)部聯合体操
  - (五)閉會式 審判報告 賞狀授與(郡長)郡長告辭 會長閉會の辭
- 萬歳三唱(聯合体育)會長閉會宣言
- 四、演技
- (一)部聯合体操の教程は其部に於て選定するものとす
  - (二)學校別体操(体操、教練、遊戯を配合したるもの)は可成全部の兒童を以て配當の時間内に之を行ふべし
  - (三)徒競争は左の通り行ふものとす
  - (イ)參加兒童 止むを得ざる事情あるもの、外は全兒童を參加せしむべし
  - (ロ)距離及時間は左表に依る



但甲乙丙に對する時間は各部に於て當日の運動場  
所其他を考へ昨年度の標準時間を参照し之を定む  
べし

(ハ)得 點  
甲二點 乙一點 丙零點

(二)成績順  
(A)各學年男女別成績順  
得點の和を在籍兒童にて除したる平均點により  
て之を定む  
(B)各學校別成績順  
各學年男女別平均點の和を以て之を定む  
(ホ)各學年男女別 最優勝者を選定する方法は各部  
に於て適宜之を定む

五、賞 狀  
左の徒競争に於て優勝者を得たる時は郡長より賞狀  
を授與せらる

(一)各學年男女別優勝組  
(二)各學年男女別最優勝者一名  
(三)尋常及高等小學校優勝組  
六、其 他  
(一)運動に参加する兒童の徽章は各部に於て定むべし

(二)服装は奢侈虚飾を戒め活潑敏捷の動作をなすに適  
せしむべし

(三)會場には學校醫の出席を求め救急治療の設備をな  
すべし

(四)開會當日聯合各町村に於て案内すべき參觀者の標  
準左の如し  
町村長、助役、收入役、學務委員、縣郡村會議員、  
學校醫、在郷軍人分會幹部、青壯年團幹部、神職、  
僧侶、警察官、町村農會長、産業組合長、其他有力  
者等

(五)會場諸般の設備は質實を旨とし危険を豫防するこ  
とに細心の注意を加ふべし

(六)運動に参加せざる兒童と雖も聯合區域内に於て適  
宜參觀せしむること

(七)開催當日は可成保護者の多數參觀を勧誘せらるべし

町村名		各 小 學 校 別 成 績 表		成 績 順 等 位		學 年 男 女 別 優 勝 者	
部	町村名	成 績	順 位	成 績	順 位	尋 常	高 等
第 一 部	萩 明倫	一、六六	一	一、二四	二	尋五男、尋六女、	
	椿 東郷			一、〇六	三	尋六男、高一男、高二女	
	椿 越ヶ濱			一、三〇	一	高二女、高一女、尋五女	
	椿 西						
	白 水						
	山 田						
	三 見						
	明 木						
	佐々並						
	長 高						
	川 上						
	高 瀬						
第 二 部	野 戸呂	一、三五	一				
	立 野	一、二八	二				
	篠 生	一、四九	三				
	篠 目	一、六九	一				
	持 坂	一、四五	二				
	生 雲	一、三七	三				
第 六 部	藏 目喜	一、〇〇	一	一、五五	一	高一女	
	雲	一、〇〇	二				







阿武郡報

前十時より銃槍擊劍と交互五組宛試合を實施す出演者何れも元氣横溢勇壯を極む勝者に對しては一々北川大佐より賞狀を授與せらる午前十一時少憩二宮範士武道に關する講話あり其大要左の如し

武道とは武士道にして演技として弓馬槍刀何れも武道なり本日此演武大會に臨み親しく擊劍の試合を見るに元氣旺盛にして氣合可なるも武道の要點たる服裝姿勢動作尚缺くる所あり精神充溢せば自然服裝姿勢動作と外形に現はれざるべからず之を例せば本日演武者の服裝の如き手首迄ある襦袢は必ず腕迄捲り上げざれば試合の服裝法に適せず竹刀は背と刃とあり背刀を使用するが如きは勿論不可なり遮二無二勝を制せんと苛立つ如き動作は最も見苦しきものにして勝て誇らず負て恨みざるを眞に武士道の本旨とす常に其心膽を練磨し其技を進め以て國家に貢獻せられんことを望む

正午十二時學校講堂に於て來賓一同晝食を了り午後一時開始同三時銃槍擊劍各三十組終了各村より選手を出し競技を行ひ山口支部長及郡長より寄贈の賞品を授與せらる

受賞者

- 山口支部長の賞品 銃槍 川上村 豫歩上 兒玉福松
- 阿武郡長の賞品 同 佐々並村 歩軍曹 美村品一

午後四時より角力開始各村より二十名にて三十組の取組些の滯滞なく進行す一般觀覽者非常に多く校庭立錫の餘地なく其數二千五百餘一勝一敗感興湧くが如し最後に各村選手の勝負あり龍虎の争鬪多く優秀なし午後八時拍手喝采裡に終りを告ぐ阿武郡長より賞品を受けたるもの

同 擊劍同 山崎信輔

北川聯合分會長本日の所感を講演せらる其大要左の如し本日は阿武郡聯合分會第二部第一回の演武大會を舉行せらるるに際し朝來親しく其成績を實見するに三ヶ村各々其特長あり佐々並村の擊劍明木村の銃槍川上村の角力等是なり而して一般參會者の元氣旺盛にして渾身の全力を競技に盡すの状を見て本職の實に愉快に堪へざる所なり當三ヶ村は平素郡内に於て其成績拔群にして簡闊點呼の成績に就て其一班を知り居りしが本日の演武大會に於て亦其感を深うせり向後本會の益々隆盛に赴き且つ回數の増加せられんことを希望す尙茲に注意を促したきは本日に於て見聞せし一班に各村各々競技成績の優勢ならんことを希望する熱心のあまり出演者の一意勝を制せんと焦

阿武郡報

り又其村より來援せられたる參觀者の聲援は人情無理からぬ事なれ共往々耳障りの節あり抑々競争は君子の争ならざるべからず午前二宮範士の講話の如く勝て誇らず負て恨みざる如くすべく他の短所を發せ或は悔蕪を加ふる如き言行は最も慎まざるべからず此三ヶ村も本郡二十七ヶ町村の一部にして其一部内の一村の勝敗を争ふ如き小心にては不可なり三ヶ村一致協力其成績を擧げ以て本郡全部に其範を示す心掛こそ希望に堪へざる所なり

歐洲戦争も漸く休戦となり世界平和克復の曉は殖産興業の競争裡となるは火を賭るよりも明かなり此競争場裡に立て雌雄を決する原動力は剛健なる精神と強壯なる體格にあり現時日本人の精神體格果して能く之に打克つことを得るや否や在郷軍人は勿論青壯年團員は皆國民の中堅人物にして銳意勤儉力行體力の増進と不撓不屈の精神を養成せざるべからず由來在郷軍人會員と謂ひ青年團員といひ壯年團員と云ふも皆一體にして異名なるものに過ぎず宜しく一致團結親睦を敦くし益々其精神と體力を向上せんことを望む人生誰か閑日あらん何人も常に多忙々々を口にするも特に必要の會合の爲には一年に二、三回位の都合は出来るものなり之が爲め毎日五分乃至十分間早く起き遅く眠る如く其家業に努力する如く注意すべ

し要は其心掛け次第なり向後も益々此種の會合の回數を増すと共に努めて多數參會せられんことを希望する所なり

午後九時内藤分會長閉會の挨拶ありて一同散會來賓一同其他有志者學校講堂に於て宴會あり

競技成績

村名	種別	選手人員	勝	負	引分
明木村	銃槍	二〇	二	七	一
	擊劍	二〇	一	八	一
	角力	二〇	一	六	一
佐々並村	銃槍	二〇	一	〇	一
	擊劍	二〇	一	六	一
	角力	二〇	一	五	一
川上村	銃槍	二〇	一	七	一
	擊劍	二〇	一	五	一
	角力	二〇	一	六	一

現役兵入隊

本年入隊したる現役兵左記の如し

一、山口歩兵第四十二聯隊に入隊すべき者百八十四名此



の内病氣等の事故に依り當日入隊せざる者十名又入隊せしも病に依り即日歸郷を命せられたるもの四名あり

一、朝鮮歩兵第七十八聯隊に入隊せし者二十七名にして一名の事故なし

一、東京近衛歩兵第三聯隊に入隊せしもの一名

一、廣島諸隊入隊者六十六名中病氣の爲入隊せざる者二名又入隊せしも病氣の爲即日歸郷を命せられたる者二名あり

一、吳海兵團に入隊せしもの五名事故なし

右の通り入隊せしに各入隊者の集會時刻は嚴守、諸注意事項の履行最も確實ありしは各當局諸君の盡力大なるものと信じ爰に感謝の意を表す

一年志願兵入隊

本年十二月一日一年志願兵として本郡より入隊せし者左記の如し

服役部隊	町村名	氏名
第一師團	萩	小倉謙二
歩兵第十一聯隊	同	國司經夫
同第四十二聯隊	同	守重哲成
同	同	兼田一郎

計十七名

萩町一年志願兵出願者佐伯敏助は疾病の爲一年志願兵條例第十四條に依り大正八年十二月一日迄入隊を延期せらる

産業

石炭籠製造販賣状況調査

阿武郡農業技手 坂

潜

石炭籠製造販賣状況調査の爲め十一月廿九日より豊浦郡栗野村及福岡縣門司市に出張し石炭籠製造販賣に付調査せし状況左の如し

一、石炭籠一日の製造工程

石炭籠は製造方法は簡易なるにより原料の調製を男子にてなし組み方は婦人又は小學兒童の暇を利用し製造すれば利益多きものにて普通の男女各一人宛にて四十個内外を製し得收支計算を示せば左の如し

收支計算

收入 石炭籠四十個賣却代 一個に付八錢の割

支出 原料四十個代一個代三錢 竹材一束に付一圓の割

差引益金 金一圓二十錢

金二圓

備考 竹材は普通周圍三寸乃至四寸位のものを使用するを利益とし一束にて三十二三個を製し得

二、現今需要供給の狀態

同村の製品は豊後製のものに比し製品良好なるにより

需要多きも製造高少く需要に應ずること不可能の狀態にあり

三、一ヶ年間製造能力

現今従業家七戸にして何れも竹林を所有し年間二萬五千個を製造せり而して今後製造高に付ては増減の見込なし

四、取引先及方法

取引先は豊浦郡宇賀村末廣七五郎木村源藏の二名にして取引方に付ては一定の規約なく製品出來次第右二名の内へ送附し時價にて代金と引替へに賣却し末廣木村の兩名は若松及門司地方の各商店の注文に應じ出荷するものとす

五、荷造運送方法

荷造としては二十個を一括とし取扱に便ならしむるものにて形式なく運送法も普通荷物と同様とす

六、將來の見込

石炭籠は一兩日の使用にて破損するものなれば從て需要頗る多く相當の竹林の存在せる地方は農閑を利用し製造せば有望なる事業と認む

七、門司市に於ける供給地並價格

門司市に於ける供給地の主なるものは豊後國北河麻部



郡佐志生村にて豊浦郡製のものは一部に過ぎず  
 價額は一定せざれども普通八錢乃至十二錢位にして倉  
 渡しとす  
 八、一ヶ年間需要高  
 一ヶ年間需要高は三菱合資會社門司支店のみにて四萬  
 個を要し是れに三井物産安井商店古川商會社其他商  
 店を合する時は年間二十萬個以上要する見込あり  
 九、取引方法  
 取引方法は規約を設くる等の事なく必要に應じ商店よ  
 り製造地の問屋に注文するものとす  
 十、運送方法及先方の希望  
 運送方法は帆船の上荷とするを普通とし商店にても倉  
 渡し價額にて取引するものなれば先方の希望もなきも  
 の、如し  
 十一、將來の需要見込  
 石炭籠は石炭の需要増加するに従ひ益々必要にて現今  
 三菱合資會社門司支店のみにて一ヶ月平均三千個を  
 要し前途需要頗る多き見込なり

生牛供出狀況

本郡内より宇品陸軍糧秣支廠へ供出せし生牛頭數及其  
 價格左の如し

供出月日	頭數	總價額	平均價額
八月十二日	一三	一、七五二	一三〇
八月二十日	一五	一、九五五	一三〇
九月七日	一四	一、九七一	一四〇
九月十六日	一一	一、六八三	一五〇
九月廿六日	一五	二、一六二	一四四
十月六日	一二	一、四八八	一二四
十月十四日	一一	一、五八一	一三五
十一月八日	一五	二、一七八	一四五
計	一〇六	一〇、七六七	一三九

町村別供出頭數、萩町一二、篠生一、生雲二〇、地福  
 五、徳佐二、嘉年一八、高俣一〇、吉部一五、紫福四  
 福賀一〇、彌富五、田万崎四

辭令

正七位勳六等 岡村勇二

叙從六位(十一月三十日)

阿武郡白水尋常高等小學校訓導兼校長 小島潤一  
 任熊毛郡視學(十一月十三日) 給五級俸  
 阿武郡白水尋常高等小學校訓導 三上純象  
 兼校長ニ任ス(十一月二十日)  
 阿武郡白水尋常高等小學校訓導兼校長 三上純象  
 山田實業補習學校長兼訓導ニ任ス(十一月廿日)  
 公立高等女學校校長 齋藤彦一  
 九級俸下賜(十月卅日) 公立高等女學校教諭 中野貞介  
 十級俸當分七百參拾圓下賜 阿武郡佐々並村郷社六軒神社々掌 岡崎隆正  
 依願免本職(十一月廿日)

實科高等女學校教職員異動

増俸の部

増俸月日	増俸	現俸	職名	氏名
大正七年十一月廿日	七級俸 當分四拾貳圓	八級俸	教諭	池上岩太郎
同	七級俸 當分四拾壹圓	八級俸	同	藤野カネ
同	八級俸 當分參拾八圓	八級俸	同	奈良小千代
同	八級俸 當分參拾八圓	八級俸	同	堀江ウツコ
同	當分參拾八圓	八級俸	同	助教諭安野章
同	四級俸	四級俸	同	長澄市衛
同	四級俸 當分參拾四圓	四級俸	同	世良ハツ
同	四級俸 當分參拾四圓	四級俸	同	安永スエ
同	當分參拾壹圓	五級俸	同	八木こさみ
同	月俸貳拾八圓	貳拾七圓	同	田村ウメ
同	月俸貳拾七圓	貳拾六圓	同	
同	月俸貳拾七圓	貳拾六圓	同	

小學校教職員異動

新任の部

新任月日	校名	俸給	職名	氏名
大正七年十一月十二日	明倫三級上俸訓導		濱村耕介	







自 誠

松平樂翁公

- 一、寧靜は、是れ心を養ふの第一法なり。
- 一、謙讓は、是れ身を保つゝの第一法なり。
- 一、讀書は、是れ智を廣むるの第一法なり。
- 一、勤儉は、是れ生を治むるの第一法なり。
- 一、舍客は、是れ人を待つゝの第一法なり。
- 一、慎交は、是れ害を避くるの第一法なり。
- 一、安詳は、是れ事に應ずるの第一法なり。
- 一、知足は、是れ樂を亨くるの第一法なり。
- 一、存厚は、是れ福を召すの第一法なり。
- 一、寡慾は、是れ壽を延ばすの第一法なり。

參 考 資 料



阿武郡報

第二十九號

學校名	男	女	計	本 月 前 位
高明木	九九、三〇	九九、五七	九九、四四	一
高瀬	九九、一〇	九九、四三	九九、二八	二
西並	九九、五〇	九八、六一	九九、〇六	三
佐野	九七、八七	九八、七五	九八、三一	四
立野	九七、六〇	九八、六九	九八、〇七	五
多目	九六、六一	九八、二一	九七、三五	六
篠川	九六、八〇	九六、二六	九六、五九	七
篠生	九八、〇二	九四、八七	九六、五〇	八
篠倫	九五、七四	九七、一〇	九六、四一	九
明東	九七、三六	九五、二四	九六、三六	〇
椿高	九六、一三	九五、八四	九五、九九	一
長間	九三、九七	九五、六〇	九五、九三	二
木英	九七、〇一	九五、〇三	九五、八七	三
育坂	九五、二四	九五、二七	九五、二五	四
持山	九六、九九	九二、九五	九五、〇五	五
龜濱	九五、八四	九三、一八	九四、六四	六
越ヶ井	九五、四六	九三、一五	九四、三四	七
大井	九五、六〇	九一、九七	九三、七二	八

一、町村立小學校尋常科兒童出席歩合表

(十一月分)

次 目

- 一、町村立小學校兒童出席歩合表
- 二、大正七年秋季犢糶賣成績調查表
- 三、阿武郡蠶繭生產額調查表



學校名	本月郡平均		前月郡平均
	本月	前月	
見島	八二、八五	七四、九五	七九、〇六
上小川	八〇、〇三	七二、五七	七七、三〇
小川	七九、九〇	七二、五一	七五、五八
下小川	七六、五五	七一、六一	七四、〇二
本月郡平均	九一、六七	八九、六三	九〇、六四
前月郡平均	九六、二六	九五、四八	九三、四四

  

學校名	計		本順	月	前位
	男	女			
明木	九八、七七	一〇〇、〇〇	九九、一五	一	四
萩	九八、一一	九八、六三	九八、三三	二	〇
椿	九九、四四	九六、一〇	九七、九〇	三	六
佐々並	九七、一七	九八、六八	九七、七六	四	二
篠生	九七、一二	九七、四四	九七、二四	五	五
多磨	九六、七八	九七、九八	九七、一一	六	五
椿東	九七、三二	九四、八八	九六、三四	七	二
福田	九六、一〇	九五、五七	九六、〇〇	八	三
育英	九四、三九	九八、三八	九五、七一	九	一
三井	九五、〇九	九一、九六	九四、二一	〇	一
大井	九一、八七	九七、三〇	九三、七五	一	七

學校名	本月郡平均		前月郡平均
	本月	前月	
大島	九一、九三	九四、八一	九三、四五
相見	九七、〇七	八九、八七	九三、四四
三見	九四、〇五	九二、二五	九三、三八
高俣	九五、三三	八九、五二	九二、五四
半田	九三、四六	九〇、七八	九二、一六
藏喜	九一、二三	九一、一一	九一、一八
川上	九一、三〇	九一、〇三	九一、一六
野呂	九一、二八	九二、一八	九一、〇七
福川	九〇、五四	八九、二四	八九、八七
嘉年	八九、〇五	九〇、〇二	八九、五六
奈古	九一、四一	八六、七四	八九、一二
紫福	八六、五八	八六、〇一	八六、三〇
生雲	八九、六一	八二、三四	八五、九九
白水	八八、〇四	八三、四六	八五、八九
宇田	八六、〇八	八五、〇二	八五、八七
吉部	八七、三五	八一、七四	八四、三五
地福	八三、五九	八二、六二	八三、〇九
福田	八二、九七	八三、一六	八三、〇七
德佐	八四、一〇	八〇、六〇	八二、二七
彌富	八一、八五	七八、七八	八〇、四二

  

學校名	計		本順	月	前位
	男	女			
大島	九一、九三	九四、八一	九三、四五	一	九
相見	九七、〇七	八九、八七	九三、四四	二	〇
三見	九四、〇五	九二、二五	九三、三八	三	二
高俣	九五、三三	八九、五二	九二、五四	四	三
半田	九三、四六	九〇、七八	九二、一六	五	三
藏喜	九一、二三	九一、一一	九一、一八	六	三
川上	九一、三〇	九一、〇三	九一、一六	七	三
野呂	九一、二八	九二、一八	九一、〇七	八	三
福川	九〇、五四	八九、二四	八九、八七	九	三
嘉年	八九、〇五	九〇、〇二	八九、五六	一〇	三
奈古	九一、四一	八六、七四	八九、一二	一一	三
紫福	八六、五八	八六、〇一	八六、三〇	一二	三
生雲	八九、六一	八二、三四	八五、九九	一三	三
白水	八八、〇四	八三、四六	八五、八九	一四	三
宇田	八六、〇八	八五、〇二	八五、八七	一五	三
吉部	八七、三五	八一、七四	八四、三五	一六	三
地福	八三、五九	八二、六二	八三、〇九	一七	三
福田	八二、九七	八三、一六	八三、〇七	一八	三
德佐	八四、一〇	八〇、六〇	八二、二七	一九	三
彌富	八一、八五	七八、七八	八〇、四二	二〇	三



前月郡平均	本月郡平均	阿武郡										計	本 順 月	前 位 月			
		見島	小川	德佐	大島	字田	彌富	白水	地福	川上	紫福				福川	生雲	奈古
九六、六五	九一、一二	七三、六三	七七、二四	八四、〇八	八四、六九	八二、五〇	八三、〇四	八八、二四	九〇、三〇	九〇、四二	八八、三八	八五、二九	八九、六三	九二、五三	九一、八九	九三、〇四	九三、三一
九六、二五	九一、四六	五九、五二	七九、五五	八一、三三	八六、〇〇	八三、九九	九二、九七	八七、四一	八五、八九	八七、一〇	九〇、八八	九六、四一	九一、二二	八八、八三	九六、三〇	九三、四〇	九三、二三
九六、六〇	九一、〇〇	七二、一七	七八、二二	八三、一〇	八五、〇〇	八五、三一	八五、七八	八七、九一	八八、三三	八八、八六	八九、二〇	八九、二七	九〇、二〇	九一、一九	九二、五九	九三、一六	九三、二九
		二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二
		二七	二三	二四	二二	二一	一九	一七	一六	一八	一九	二五	二二	二一	二〇	二六	二六

二、大正七年秋季犢糶賣成績調查表

村名	成				立				成				立			
	頭數	價格	最高	最低	頭數	價格	最高	最低	頭數	價格	最高	最低	頭數	價格	最高	最低
萩	四	一三四、〇	四〇、〇	二六、〇	一	七五、〇	七〇、〇	二〇、〇	一	七五、〇	七〇、〇	二〇、〇	一	七五、〇	七〇、〇	二〇、〇
椿東分	二	七〇、〇	三〇、〇	三〇、〇	六	三三、五	七〇、〇	一八、五	八	二四〇、〇	二九二、五	七〇、〇	一八、五	八	二四〇、〇	二九二、五
山田	五	一八八、〇	四七、〇	二七、〇	一	五二、〇	六〇、六	二二、五	一〇	四四七、七	六五、〇	二二、五	一〇	四四七、七	六五、〇	二二、五
三見	四	一八七、六	六五、〇	三六、〇	六	二二七、一	六〇、〇	二二、〇	一	七三、〇	四一、四	二二、〇	一	七三、〇	四一、四	二二、〇
佐々並	三	一五四、〇	七〇、〇	三〇、〇	八	五五九、〇	一一二、五	二二、〇	二	一一〇、〇	一一〇、〇	五五、〇	二	一一〇、〇	一一〇、〇	五五、〇
篠生	四	二三一、〇	九七、〇	三五、〇	二	一一〇、〇	五五、〇	二二、〇	二	一一〇、〇	五五、〇	二二、〇	二	一一〇、〇	五五、〇	二二、〇
生雲	一	二二一、〇	二二、〇	二二、〇	四	一六八、〇	七〇、〇	二一、〇	一	八二、〇	八二、〇	七〇、〇	一	八二、〇	八二、〇	七〇、〇
地福	一	二二一、〇	二二、〇	二二、〇	三	一七一、〇	一一五、〇	二一、〇	三	一七一、〇	一一五、〇	二一、〇	三	一七一、〇	一一五、〇	二一、〇
德佐	一	二二一、〇	二二、〇	二二、〇	三	一七一、〇	一一五、〇	二一、〇	三	一七一、〇	一一五、〇	二一、〇	三	一七一、〇	一一五、〇	二一、〇
嘉年	二	一四三、〇	八六、〇	五七、〇	九	二九一、〇	四〇、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇
高俣	一	二二一、〇	二二、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇
吉部	一	二二一、〇	二二、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇
彌富	一	一五九、五	四〇、〇	二四、五	一	三〇、七	四〇、〇	一八、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇
紫福	一	一五九、五	四〇、〇	二四、五	一	三〇、七	四〇、〇	一八、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇
福川	一	一五九、五	四〇、〇	二四、五	一	三〇、七	四〇、〇	一八、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇
奈古	一	一五九、五	四〇、〇	二四、五	一	三〇、七	四〇、〇	一八、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇
大井	一	一五九、五	四〇、〇	二四、五	一	三〇、七	四〇、〇	一八、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇
奈古	一	一五九、五	四〇、〇	二四、五	一	三〇、七	四〇、〇	一八、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇	一	一五、〇	一五、〇	二二、〇
宇田郷	二	一六〇、一	四〇、〇	二六、一	一	五〇、七	八〇、〇	二〇、〇	一	四二、四	七〇、〇	二〇、〇	一	四二、四	七〇、〇	二〇、〇
字田郷	二	一六〇、一	四〇、〇	二六、一	一	五〇、七	八〇、〇	二〇、〇	一	四二、四	七〇、〇	二〇、〇	一	四二、四	七〇、〇	二〇、〇



年度	春		夏		秋		合計
	收繭高	金高	收繭高	金高	收繭高	金高	
大正六年	一、六六五	一〇六、七五四	三七六	三〇、六二九	一、〇四九	七七、三三五	二、四〇八
大正七年	一、七三三	一一六、〇四三	四五二	三三、四五二	八〇三	五六、六九四	二、四一八
前年に比し	増 一二六	増 一九、二八九	増 七六	増 八三	減 二四六	減 二〇、六三二	増 一〇

  

年度	春		夏		秋		合計
	收繭高	金高	收繭高	金高	收繭高	金高	
大正六年	一、六六五	一〇六、七五四	三七六	三〇、六二九	一、〇四九	七七、三三五	二、四〇八
大正七年	一、七三三	一一六、〇四三	四五二	三三、四五二	八〇三	五六、六九四	二、四一八
前年に比し	増 一二六	増 一九、二八九	増 七六	増 八三	減 二四六	減 二〇、六三二	増 一〇

  

年度	春		夏		秋		合計
	收繭高	金高	收繭高	金高	收繭高	金高	
大正六年	一、六六五	一〇六、七五四	三七六	三〇、六二九	一、〇四九	七七、三三五	二、四〇八
大正七年	一、七三三	一一六、〇四三	四五二	三三、四五二	八〇三	五六、六九四	二、四一八
前年に比し	増 一二六	増 一九、二八九	増 七六	増 八三	減 二四六	減 二〇、六三二	増 一〇

  

年度	春		夏		秋		合計
	收繭高	金高	收繭高	金高	收繭高	金高	
大正六年	一、六六五	一〇六、七五四	三七六	三〇、六二九	一、〇四九	七七、三三五	二、四〇八
大正七年	一、七三三	一一六、〇四三	四五二	三三、四五二	八〇三	五六、六九四	二、四一八
前年に比し	増 一二六	増 一九、二八九	増 七六	増 八三	減 二四六	減 二〇、六三二	増 一〇

阿武郡報第二十九號 大正七年十二月十五日發行 ◎大正六年十二月十九日 第三種郵便物認可 ◎每月十五日發行 一部代價金拾錢